

令和8年度

大崎麦作情報 総括号

令和8年8月17日発行

宮城県大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～令和8年産麦類の特徴(シラネコムギ)～

○越冬前は生育が停滞したが、越冬後は分けつが増加し、生育は大幅に進んだ。

○千粒重は大きかったが、穂数は少なく、収量は平年を下回った。

1 気象経過

(1) 越冬前 (10月～12月)

10月第4半旬と第6半旬に多雨となったが、11月以降は少雨となった。

気温的には11月下旬に、やや高温となった時期があった。

(2) 冬期間 (1月～2月)

期間中、降雪は断続的にあったものの、雪害並びに融雪後の湿害をもたらすことはなかった。しかし一方で、厳冬期の寒気に直接曝露される期間が長くなった。

(3) 越冬後 (3月～6月)

2月以降は、概ね高温傾向で推移した。

5月12日以降、曇天傾向となり、大気中の平均湿度は80%を超える日が続いた。

6月20日の梅雨入り以降まとまった降雨が続いた。

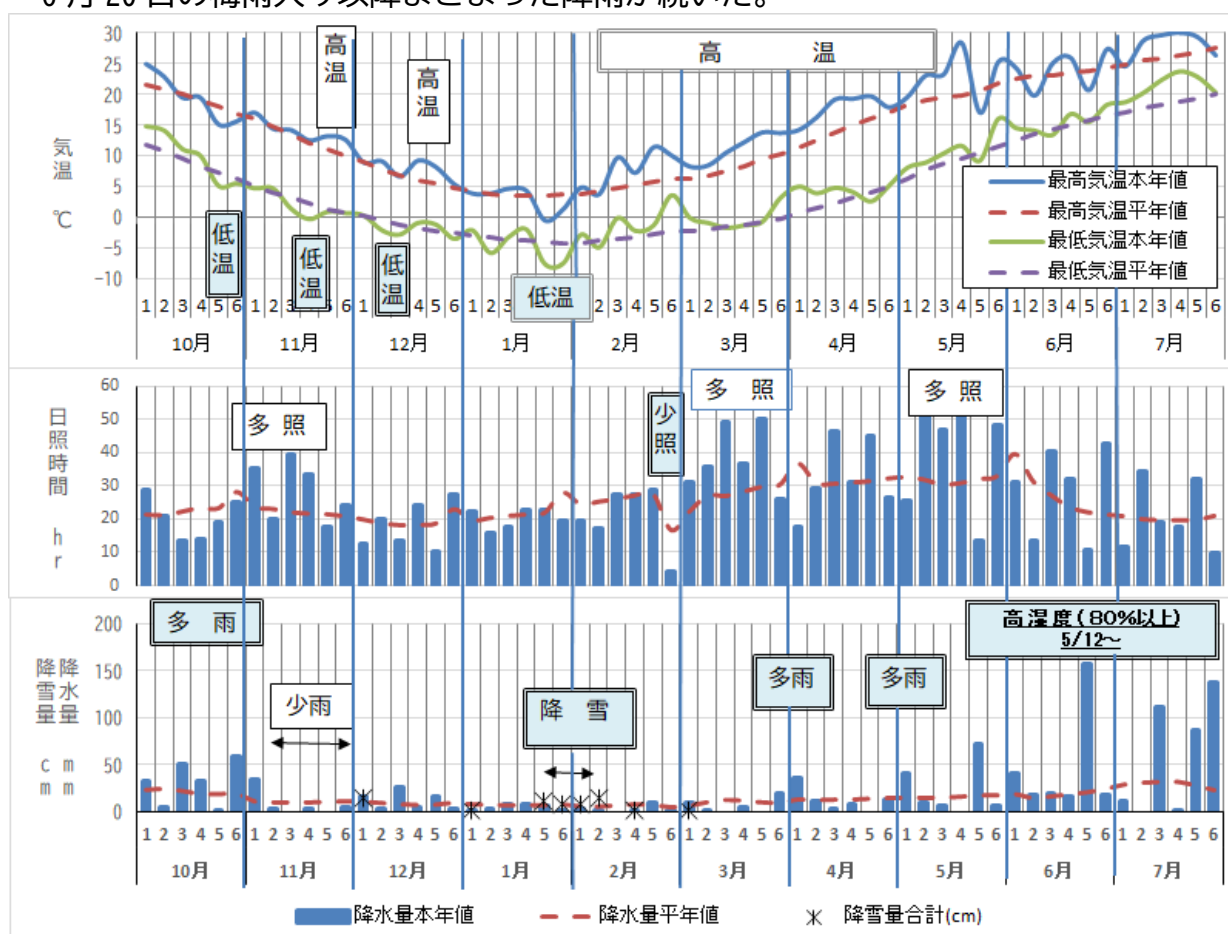


図1 気象経過 (古川アメダス) ※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値

2 生育概況

～生育調査ほの生育調査結果について～

(○良好～△やや良～▲やや不良～●不良)

(1) 越冬前～冬期間 (10月～2月上旬)

△播種日はシラネコムギが平年(直近5ケ年平均)より1日遅い10月22日、夏黄金は11月8日で、いずれも出芽はムラが少なく、良好でした。

●その後、日中は気温が上昇したものの、日最低気温が平年を下回る日が続いたこと、特に積雪が少なかったため厳冬期の寒気に直接曝露される期間が長くなり、生育停滞が一層助長されました。

(2) 越冬後 (2月中旬～6月)

△2月中旬以降、気温が上昇したのに伴い分けつも発生し始めました。

△シラネコムギの生育ステージは、平年と比較して幼穂形成始期は平年並み、減数分裂期は2日、出穂期は1日、成熟期は2日早くなりました。また、夏黄金の生育ステージもほぼ同時期で推移しました。

●6月下旬より収穫適期となったものの、6月20日の梅雨入り以降まとまった降雨が続いたことから、収穫作業は遅延しました。

●シラネコムギの成熟期の稈長・穂長は平年より長く、千粒重も平年よりも大きくなったものの、穂数・子実重は平年を下回りました。

△夏黄金もシラネコムギとほぼ同様の生育結果となりました。

また、乾田直播後と子実用トウモロコシ後では、大きな差異は認められませんでした。

※総合考察

出芽時の生育停滞から越冬後に急成長したことで穂数は平年比8割程度まで回復したものの、細い茎が多くなり、必ずしも十分な生育ボリュームを確保するに至らず、子実重(収量)は平年比6割程度に止まりました。

(3) その他各種障害について+ワンポイント対策

●昨年の収穫残渣を感染源として、株本より罹病したものと推定される赤かび病株が、6月初め頃より散見されました。

→対策1: 麦類の作付けは固定連作とせず、水稻後のブロック・ローテーションとすることで、感染源の基を断ちましょう。

→対策2: 前年の収穫残渣をすき込み、埋伏させることで、感染源を低減できます。

●また開花期の5月12日以降、多雨・曇天傾向となり、大気中湿度が80%を越える日が継続したことから、穂への赤かび病の感染が拡大しました。

●成熟期後の降雨により、一部で穂発芽の発生が見られました。

→対策1: 成熟期を早める(生育ステージを前進させる)には、早期播種(10月上旬播種)が有効です。

次作に向けた全般的な対策は、
令和9年産大崎麦作情報第1号(準備中)をご参考に願います。

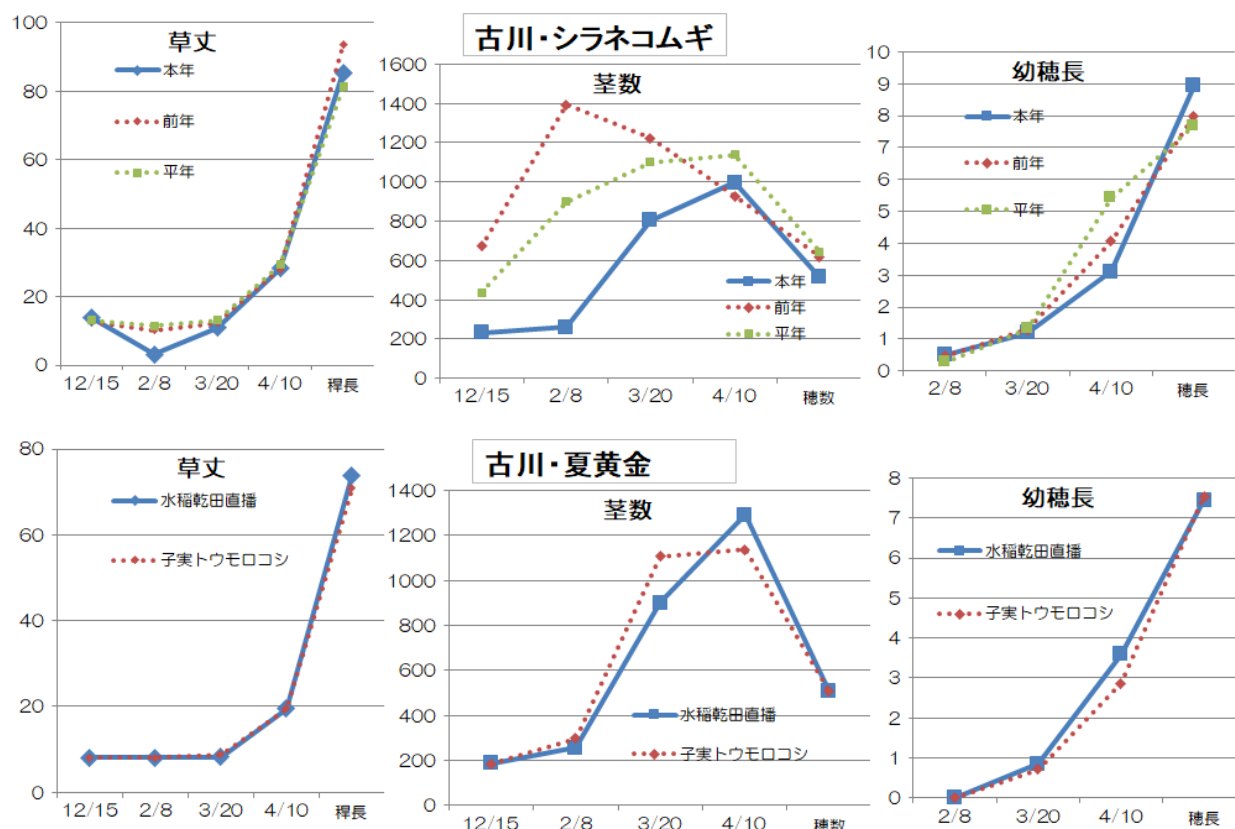


図2 草丈（左）茎数（中）幼穂長（右）の推移

表1 生育ステージ

地区名 品種名	前作	比較	播種日	幼穂形成 始期	減数 分裂期	出穂期	開花期	成熟期
古川 シラネコムギ	小麦	本年 前年差 平年差	10/22 3日遅い ±0日	3/17 ±0日 ±0日	4/24 3日早い 2日早い	5/03 ±0日 1日早い	5/12 3日早い 3日早い	6/17 2日早い 2日早い
古川 夏黄金	水稻 乾田直播	本年	11/8	3/21	4/25	5/4	5/13	6/15
古川 夏黄金	子実用 トウモロコシ	本年	11/8	3/21	4/23	5/4	5/13	6/15

表2 成熟期・収量調査結果

地区名 品種名	前作	比較	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g/千粒)	容積重 (g/L)	子実重 (kg/10a)
古川 シラネコムギ	小麦	本年 前年比 平年比	85.5 91% 105%	9.0 112% 116%	516 83% 80%	37.9 89% 107%	836 98% 102%	307 47% 58%
古川 夏黄金	水稻 乾田直播	本年	73.9	7.5	508	36.9	829	250
古川 夏黄金	子実用 トウモロコシ	本年	70.9	7.6	508	37.5	833	265

※1 平年差・比は、過去5か年（令和3～7年産）の平均値との比較、篩目2.0mmで調整